

# 再生医療について

PRP  
療法

APS  
療法

## PRP 療法 自分の血液を使った再生医療

人は出血したり傷を負ったりした時、血液中の血小板が凝集し、免疫システムから分泌されるタンパク質が放出されることで組織を再生し、傷を治していきます。この血小板を高濃度に凝縮したものがPRP:Platelet Rich Plasma(多血小板血漿)です。

PRPにはたくさんの成長因子が含まれていて、細胞の成長を促進させる力があります。この力が、人が本来持っている治癒能力や組織修復能力・再生能力を最大限に引き出し、傷んだ関節軟骨・靭帯などの治癒を促すと考えられています。

PRP療法は、このPRPを使い、自己治癒力(自分で治す力)をサポートする治療法です。メジャーリーガーの田中将大さんや大谷翔平さんがこの治療を受けたことで、世間でも話題となりました。

自分自身の血液から作成するため、拒絶反応が起こる可能性は極めて低いと考えられます。また、採血と注射のみで終わるため、体への負担も少なくて済みます。

当院で使用するPRPは、高濃度の白血球を含むLR-PRP:Leucocyte Rich-PRP(高白血球多血小板血漿)です。



## APS 療法 関節の痛みの特化した次世代PRP

関節の変形自体は治すことはできませんが、手術を行うことなく、関節の炎症や関節痛の軽減が期待できるため、まずは試してみたいという方もいらっしゃいます。

APS療法では、LR-PRPを更に濃縮したAPS:Autologous Protein Solution(自己タンパク質溶液)を使用します。

## 適応疾患

### PRP療法

#### ■慢性(難治性)の腱炎や腱の付着部の炎症

- 膝蓋腱炎(ジャンパー膝)
- 足底腱膜炎
- 上腕骨外側上顆炎(テニスひじ)
- 上腕骨内側上顆炎(ゴルフひじ)
- アキレス腱障害(アキレス腱炎・腱周囲の炎症)

#### ■滑液胞炎

- 滑液胞炎(膝・ひじ・くるぶし)
- ベーカーのう腫(膝窩嚢腫)
- ガングリオン

#### ■その他

- 肉離れ(筋不全断裂)
- 靭帯損傷
- 肩けん盤断裂
- 肩関節周囲炎
- TFCC損傷
- 難治性骨折



### APS療法

- 変形性膝関節症

